



2024年4月期 第3四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2024年3月12日

上場会社名 神島化学工業株式会社
コード番号 4026 URL <https://www.konoshima.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部長
四半期報告書提出予定日 2024年3月12日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
(氏名) 池田 和夫
(氏名) 高橋 誠
TEL 06-6110-1133

(百万円未満切捨て)

1. 2024年4月期第3四半期の業績(2023年5月1日～2024年1月31日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年4月期第3四半期	19,152	8.6	1,318	19.8	1,285	20.9	972	4.8
2023年4月期第3四半期	17,637	10.1	1,644	4.5	1,626	5.9	1,021	10.8

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年4月期第3四半期	107.46	106.90
2023年4月期第3四半期	113.08	112.48

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年4月期第3四半期	30,115	11,238	37.1
2023年4月期	29,389	10,558	35.7

(参考)自己資本 2024年4月期第3四半期 11,178百万円 2023年4月期 10,499百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年4月期		20.00		20.00	40.00
2024年4月期		21.00			
2024年4月期(予想)				21.00	42.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年4月期の業績予想(2023年5月1日～2024年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	25,700	7.1	2,200	1.5	2,200	2.7	1,600	4.4	176.96

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年4月期3Q	9,240,000 株	2023年4月期	9,240,000 株
期末自己株式数	2024年4月期3Q	187,061 株	2023年4月期	198,235 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年4月期3Q	9,048,472 株	2023年4月期3Q	9,035,734 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.2「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(セグメント情報等)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの感染症法上の位置付けが5類に移行し、経済活動の正常化に向けた動きが進み、景気は緩やかな持ち直しが見られました。一方で中国を中心とした海外の景気減退、原材料やエネルギー価格の高止まり、円安の進行、物価上昇による個人消費の伸び悩みなどにより、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

当社建材事業の主要マーケットである住宅市場において新設住宅着工戸数は、持家、貸家及び分譲住宅の全てが減少し、当第3四半期累計期間では617千戸と前年同四半期比6.3%の減少となりました。

このような経営環境の中、当社は、『旺盛な需要に対応した設備投資の拡大と持続的成長モデルの構築』、『建材と化成品のハイブリッド技術による脱炭素社会への「ハイエンド商品の追求」と「収益の極大化」』の中期経営計画の基本方針に基づき、経営に取り組んでおります。

この結果、当第3四半期累計期間の業績につきましては、売上高は19,152百万円と前年同四半期比1,514百万円(8.6%)の増収となりました。営業利益は1,318百万円と前年同四半期比326百万円(19.8%)の減益、経常利益は1,285百万円と同340百万円(20.9%)の減益、四半期純利益は972百万円と同49百万円(4.8%)の減益となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

① 建材事業

住宅分野は、当社の強みである「基材の強み」に「塗装技術」を掛け合わせた高付加価値製品の高級軒天ボードが販売数量、売上高共に大幅に増加しました。

非住宅分野は、都市型高層ビル用の耐火パネルが工事の遅れにより減少しました。

これらの結果、売上高は10,671百万円と前年同四半期比13百万円(0.1%)の減収となりました。セグメント利益(営業利益)は、燃料費・原材料価格の上昇や固定費増加に対して、値上げや高付加価値製品の高級軒天ボードの拡販に努めましたが補えず、704百万円と同289百万円(29.1%)の減益となりました。

② 化成品事業

マグネシウムは、海外の難燃水酸化マグネシウムや酸化マグネシウムを中心に増収となりました。

セラミックスは、主要製品の蛍光体や蓄冷材が堅調に推移し、増収となりました。

これらの結果、売上高は8,480百万円と前年同四半期比1,527百万円(22.0%)の増収となりました。セグメント利益(営業利益)は、燃料費・原材料価格の上昇や減価償却費などの固定費増加に対して、値上げや増産設備稼働のマグネシウム製品・セラミックス製品の増収効果により、1,086百万円と同1百万円(0.1%)の減益に留めました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期会計期間末の総資産は30,115百万円となり、前事業年度末(以下、「前年度」という。)に比べ725百万円増加いたしました。主な増減要因は、有形固定資産の2,361百万円増加、現金及び預金の1,022百万円減少等であります。

負債は18,877百万円と前年度に比べ46百万円増加いたしました。主な増減要因は、短期借入金金の2,000百万円増加、設備関係電子記録債務の1,219百万円減少等であります。

純資産は11,238百万円と前年度に比べ679百万円増加いたしました。利益剰余金が601百万円増加したことによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年4月期の業績につきましては、2023年6月12日の決算発表時に公表いたしました数値から、変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,148	1,125
受取手形及び売掛金	3,745	3,540
電子記録債権	1,223	993
商品及び製品	2,588	2,746
仕掛品	969	1,044
原材料及び貯蔵品	1,120	1,179
その他	1,019	523
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	12,814	11,152
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	4,504	5,883
機械及び装置（純額）	4,068	9,262
土地	1,381	1,384
建設仮勘定	4,720	421
その他（純額）	626	711
有形固定資産合計	15,301	17,663
無形固定資産	58	88
投資その他の資産		
投資有価証券	311	397
繰延税金資産	796	682
その他	106	130
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	1,215	1,210
固定資産合計	16,575	18,962
資産合計	29,389	30,115

(単位：百万円)

	前事業年度 (2023年4月30日)	当第3四半期会計期間 (2024年1月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,332	1,658
電子記録債務	1,508	1,064
短期借入金	5,100	7,100
1年内返済予定の長期借入金	822	1,119
未払法人税等	338	—
賞与引当金	397	188
製品保証引当金	184	157
設備関係支払手形	18	0
設備関係電子記録債務	1,498	278
資産除去債務	—	13
その他	2,058	1,508
流動負債合計	14,259	13,088
固定負債		
長期借入金	2,043	3,335
退職給付引当金	1,896	1,942
訴訟損失引当金	16	31
その他	615	478
固定負債合計	4,571	5,789
負債合計	18,831	18,877
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,320	1,320
資本剰余金	1,081	1,086
利益剰余金	8,253	8,854
自己株式	△234	△221
株主資本合計	10,420	11,039
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	79	139
評価・換算差額等合計	79	139
新株予約権	59	59
純資産合計	10,558	11,238
負債純資産合計	29,389	30,115

(2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期累計期間 (自2022年5月1日 至2023年1月31日)	当第3四半期累計期間 (自2023年5月1日 至2024年1月31日)
売上高	17,637	19,152
売上原価	12,582	14,322
売上総利益	5,055	4,829
販売費及び一般管理費	3,410	3,511
営業利益	1,644	1,318
営業外収益		
受取配当金	11	11
物品売却益	10	9
その他	15	20
営業外収益合計	38	41
営業外費用		
支払利息	47	60
その他	8	13
営業外費用合計	56	74
経常利益	1,626	1,285
特別損失		
工場構築費用	98	—
訴訟関連損失	40	—
訴訟損失引当金繰入額	—	14
固定資産除却損	39	18
投資有価証券売却損	1	—
特別損失合計	180	33
税引前四半期純利益	1,446	1,252
法人税、住民税及び事業税	331	191
法人税等調整額	93	88
法人税等合計	424	279
四半期純利益	1,021	972

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間(自 2022年5月1日 至 2023年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,684	6,953	17,637	—	17,637
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,684	6,953	17,637	—	17,637
セグメント利益	994	1,087	2,081	△437	1,644

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△437百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△437百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期累計期間(自 2023年5月1日 至 2024年1月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期損益 計算書計上額 (注) 2
	建材事業	化成品事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,671	8,480	19,152	—	19,152
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	10,671	8,480	19,152	—	19,152
セグメント利益	704	1,086	1,791	△472	1,318

(注) 1. 調整額は、以下のとおりであります。

セグメント利益の調整額△472百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△472百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない当社の総務部門等管理部門に係る費用であります。

2. セグメント利益は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。